PROFILE

人物白書

vol. 24

氏名　服部（ハットリ） 祐樹（ユウキ）

所属部署　営業1部 東京営業所

担当エリア　東京都内

お客さまに言われて嬉しかった一言

“分かりやすい説明ありがとうございます”

新規引合対応を重ねる中でお客さまから言われた一言です。
JPRの一営業マンとして、スタートラインに立てたと感じました。

Message

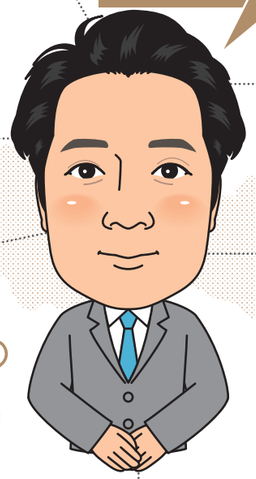
お客さまへのメッセージ

JPRのパレット・システムを
通して一緒に物流を
改善していきましょう!

【座右の銘】
「酒の一滴は血の一滴」
大好きなお酒が明日を生きる糧なので、
健康診断前日も元気に飲みます。

【出身地】
宮城県仙台市

【趣味】
飲酒・野球



【好きなもの】
卵料理・辛い物

【嫌いなもの】
二日酔い

【長所・ウリ】
左投げ左打ち

FoCUS　商品・サービスインフォメーション

24 非接触温度センサー

入出記録を体温と同時に

導入事例

従業員出勤、お客さま来訪時の測定＆記録に

column

誤差±0.1℃の高精度。顔認証機能と非接触自動測定で職場に安心を

新型コロナウイルス感染症に関する報道の中には、物流現場や事務所内など、職場での感染を報じるものも少なくありません。万一の事態を未然に防ぐ、そして、万一の際の被害を最小限に抑えるためには、日々の検温とその記録を行うことが不可欠ですが、これらを人手で行うとなると手間やミスの問題と、なにより測定による感染リスクを解決しなければなりません。今回ご紹介する「非接触温度センサー」は、機器の前に立つだけで体温とマスクの装着有無を自動測定。判定結果を画面とアラーム音で表示するとともに、測定内容を自動で内部に保存いたしますので、リスクを最小限に抑えた感染症対策を実施できます。顔認証機能も搭載しており、個人を識別してデータを記録しますので、勤怠管理にも応用できます。高精度・高性能ですが、設置も操作も簡単。安心してお使いいただけます。

商品の詳細はこちらから

JPR 日本パレットレンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル　URL www.jpr.co.jp　e-mail service@jpr.co.jp

最新情報など詳しくはwebから!
日本パレットレンタル

発行/2020年12月10日　編集/日本パレットレンタル株式会社　制作・印刷/DNP 大日本印刷株式会社

お客さまとJPRをつなぐ情報誌

JPR

VOL. 24
2020. Dec

軽量・コンパクトなアシストスーツの導入で工場における重作業の負担を大幅軽減

— JPR SPOT LIGHT／小川珈琲株式会社 —

軽量・コンパクトなアシストスーツの導入で工場における重作業の負担を大幅軽減

古都・京都を本拠に「本物」の味わいを追求し、コーヒーを作り続けている小川珈琲株式会社（以下、小川珈琲）。同社ではこのほど、生産現場である京都工場においてJPRの「マッスルスーツEvery」を導入。身体的負担の大きい作業に日々活用しているという。その導入の経緯から実際の使用感まで、同社の皆さまにお話を伺った。

1 東京・世田谷区桜新町に2020年8月オープンした新旗艦店「OGAWA COFFEE LABORATORY」

“京都の珈琲職人”のこだわりを守り続けて

小川珈琲は1952年の創業以来、京都の地でコーヒーづくりを続け、「本物」の味わいを追求してきた。現在の主な事業は、コーヒーの製造をはじめ、紅茶やコーヒー器具、輸入食品、喫茶材料などの卸・販売。スーパーや生協など小売ルートへの卸や、喫茶店などへの業務用の卸が売上の大半を占める。地元京都では、昔ながらの喫茶店の看板などで小川珈琲のロゴを見かけることも多く、関西を中心に根強い人気を誇る。2020年8月には、東京・世田谷区桜新町に「OGAWA COFFEE LABORATORY」をオープン。さまざまなコーヒーと炭焼き料理などが楽しめる同社の新旗艦店として話題を呼んだ。

「当社ではコーヒーの原料選びと加工工程の両方にこだわって、おいしさを追求しています。創業当時から、一粒一粒の豆を大切にする“京都の珈琲職人”の精神を守り抜いてきました」と語るのは、生産部部長の小川晃司さん。世界各地のコーヒー生産者との強い信頼関係のもと約20か国から生豆を輸入するとともに、ISOなど世界基準の安心・安全に配慮した工場で加工を行う。その両輪があって初めて、長く愛され続ける小川珈琲のクオリティが実現しているのだという。

京都工場で「マッスルスーツEvery」を導入

そんな小川珈琲のクオリティを支える京都工場では、1日に約10トンの生豆を焙煎・粉砕・包装し、約4万～6万袋の製品を生産している。工程の一部に身体的負担の大きい作業も含まれることから、同社では2020年5月にJPRの「マッスルスーツEvery」を導入した。

「マッスルスーツEvery」とは、空気圧を利用した「人工筋肉」の力によって、各種作業時の腰への負担を軽減するアシストスーツ。その導入のきっかけについて、横山浩子さんは話す。「以前から展示会などで電動タイプのアシストスーツを見かけることはありましたが、値も張ることから、気軽に製造課のほうへ提案するのはためらわれていました。そんなとき、レンタルパレットの関係でおつきあいのあるJPRの営業担当者から『マッスルスーツEvery』を紹介されたのです」。

当時、横山さんから相談を受けた坂下崇史さんも、「大がかりな電動タイプと違い、エアータイプでコンパクトなので、試してみてもいいかな、と考えました」と話す。「工場でまず1週間のデモ利用をしてみたのですが、返却期限が近づくと作業担当者が残念そうにしている。それを見て『これは使えるんだな』と本気で検討する気になり、試用期間を1週間延長したのち導入を決定しました」。

2 （左から）生産部 生産管理課 課長代理 坂下 崇史さま、生産部 物流課 課長 横山 浩子さま、生産部 部長 小川 晃司さま、生産部 製造課 小森 雅也さま、生産部 製造課 課長 藤原 宗廣さま 3 中腰の姿勢でも負担が少ない 4 生豆の詰まった袋を持ち上げる

体への負担軽減でモチベーションもアップ

工場の現場の立場から導入の検討に当たったのは藤原宗廣さん。電動タイプはパワーもすぐれているが、それだけ費用もかかる。費用対効果の観点から、導入価格の抑えられる「マッスルスーツEvery」を最初のステップとして使ってみることにしたという。「結果は、使いやすく好評で、導入して非常によかったと思っています。作業担当者がマッスルスーツを着用して働く様子を見ていると、以前と比べて楽になっていることが分かります。体への負担が減った分、モチベーションも上がって、より積極的に仕事に当たってくれているようです」と藤原さんは導入効果を高く評価する。

2年後には創業70周年を迎える小川珈琲。首都圏への本格進出などさらなる発展を目指す中でJPRに期待することを、最後に小川部長に伺った。「工場で作ったコーヒーをお客さまにお届けするまでが私たちの仕事。今後の事業拡大も見据えて、数年前に物流課を独立させたものの、物流に関してはまだ経験が足りないと感じています。マッスルスーツの導入で生産現場の環境改善は図れましたが、商品の保管や配送の部分にも重労働はあります。そうした部分でもレンタルパレットの活用などにより省力化・省人化を進めていきたい。物流に幅広い知見を持つJPRには、これからも知恵を貸してもらえたらうれしいですね。さらには、当社の納品先やその先々を含め、社会全体の物流改善を推進していただけることを期待しています」。

マッスルスーツのおかげで
気持ちも変わりました!

Interview

Guest. Masaya Komori

つらい力仕事が本当に楽になりました

工場で実際に「マッスルスーツEvery」を使用している小森雅也さんに、使用感などを詳しく伺った。

Q. どのような業務でお使いですか?

A. スペシャルティコーヒーを作る工程で、大きな袋に入った生豆を焙煎機につながるコンテナに移し替える作業に使っています。重さ60～70kgの袋を1日に20～30袋ほど手運びするのですが、下に置いてある袋を持ち上げるとき、以前は腰に大きな負担がかかっていました。

Q. 「マッスルスーツEvery」の第一印象をお聞かせください。

A. これを装着しただけで力仕事が楽になるなんて本当かな、と半信半疑でした。本体を手に持ったときは少し重たい印象でしたが、身に着けたら気にはなりませんでした。

Q. 装着方法・操作方法は分かりやすかったですか。

A. 背負ってベルトを締めれば装着完了なので、何度かやるとすぐに慣れました。今では特に意識せず、作業着に着替えるような感覚で自然に装着しています。

Q. 「マッスルスーツEvery」の使い心地はいかがでしょうか。

A. 半年近く使ってきましたが、腰が楽になって、とても助かっています。装着していると姿勢が矯正されるような感じで、重いものを持つときに無駄な力を使わないようになりました。

ふだん、しゃがんだ姿勢から立ち上がるとき、両手を腿に当ててグッと体を持ち上げたりしますよね。あんなイメージで、マッスルスーツの腿パッドが腰を支えてくれます。個人的な感覚としては、60kgの袋が「半分よりちょっと重いかな」というくらいに感じられます。20kg以上は軽くなっている印象ですから、その差はとても大きいですね。

Q. 気持ちの上でも変化はおありでしたか。

A. 生豆の袋を手運びするのは、正直つらい仕事で、あまりやりたくなかったのですが、マッスルスーツを使うようになってからは、気にせずやれるようになりました。モチベーションは確実に上がりましたね。

背負う形なので、狭い場所ではうっかり物に当たってしまうことがあり、もう少しコンパクトになればという気持ちもありますが、現状では使いやすさ・効果ともに、とても満足しています。